

油砥石 (オイルストーン) ・成分表、安全シート

柳 瀬 株 式 会 社

兵庫県丹波市山南町谷川1-3-85

TEL : 0795-77-2151

作成日 : 2008年6月12日

変更日 : 2023年12月1日

整理番号 : MSDS-Z063



危険有害性の要約

危険性 : 危険性は極めて低い。

有害性 : 研磨作業中に発生する粉じんは眼、皮膚を刺激することがある。

: 研磨作業中に発生する粉じんを吸入すると健康障害を起こすことがある。

環境影響 : 研磨作業中に粉じんが発生するので作業環境を汚染する恐れがある。

[GHS分類] (構成純物質について)

別表参照

[GHSラベル要素] (構成純物質について)

別表参照

注意書き

応急措置、保管、廃棄については、下記を参照。

油砥石

	成 分		
物質の特定	単一製品・混合物の区分 : 混合物		
	酸化アルミニウム(安衛法別表第9-190)90%以上を含有する粉体(重量比約70%)と二酸化ケイ素(重量比約30%)とを混合成型し1200℃で焼結した固体。		
		CAS,No	含有量 (%)
	酸化アルミニウム	1344-28-1	70%
	二酸化ケイ素	7631-86-9	30%
危険・有害性の分類	PRTTR法第1及び第2種指定化学物質を一切含まず。 分類基準に非該当。国連分類に非該当。 輸出貿易管理令別表第1及び第2に非該当。 労働安全衛生法に於ける表示義務指定物質(酸化アルミニウム)を70%含む。		

応急処置	目に入った場合 粉塵が目に入った場合は直ちに水道水で洗い流す。この際、強く押さえたり擦ったりしないこと。痛みが残る場合には、眼科医の処置を受けて下さい。 皮膚に付いた場合 粉塵が付着した場合は水で洗浄の事。 接触刺激によるかぶれがある場合は、保護手袋を着用の事。 吸引した場合 粉塵を吸引した場合には、水でうがいの事。(洗浄)
火災時の処置	消火方法 初期は散水、及び炭酸ガス、泡消火を行う。 特別な注意事項はなし。
保管上の注意 暴露防止措置	割れ物である為、衝撃を与えぬ事。直射日光の当たらぬ冷暗所に保管。 保護眼鏡、マスク、の着用が必要。
科学的性質	外観：固体、不燃性、常温で極めて安定。水に不溶。
危険性の内容・程度	不燃性固体。消防法、船舶安全法、航空法に於いて非危険物。
有害性の内容・程度	皮膚腐食性なし。毒性なし。爆発性なし。がん原性なし。
輸送上の注意	割れ物であり、放り投げ、落下などの衝撃が無い事。
廃棄上の注意	都道府県知事認可の処理業者に委託する。陶器クズとして処理。
適用法令	労働安全衛生規則、粉塵障害予防規則。

構成純物質のGHS分類

○印が該当する物質	○	○
	酸化アルミニウム	二酸化けい素

物理化学的危険性

火薬類	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性ガス	分類対象外	分類対象外
可燃性・引火性エアゾール	分類対象外	分類対象外
支燃性・酸化性ガス類	分類対象外	分類対象外
高压ガス	分類対象外	分類対象外
引火性液体	分類対象外	分類対象外
可燃性固体	区分外	区分外
自己反応性化学品	分類対象外	分類対象外
自然発火性液体	分類対象外	分類対象外
自然発熱性固体	区分外	区分外
自己発熱性化学品	区分外	区分外
水反応可燃性化学品	区分外	区分外
酸化性液体	分類対象外	分類対象外
酸化性固体	区分外	分類対象外
有機過酸化物	分類対象外	分類対象外
金属腐食性物質	分類できない	分類できない

健康に対する有害性



急性毒性(経口)	区分外	区分外
急性毒性(経皮)	分類できない	区分外
急性毒性(吸入:ガス)	分類対象外	分類対象外

急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん)	分類できない	分類できない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	区分外
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない	区分2
呼吸器感受性	分類できない	分類できない
皮膚感受性	分類できない	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない	分類できない
発がん性	区分外	区分1A
生殖毒性	区分できない	分類できない
特定標的臓器・全身毒性(単回ばく露)	区分3(気道刺激性)	区分3(気道刺激性)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分1(吸入:肺)	区分1(呼吸器 腎臓 免疫系)
吸引性呼吸器有害性	分類できない	分類できない

環境に対する有害性

水生環境急性有害性	分類できない	分類できない
水生環境慢性有害性	分類できない	分類できない

ラベル要素

絵表示又はシンボル		
注意喚起語	危険	危険
危険有害性情報	呼吸器への刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露吸入による肺の障害。	強い眼刺激。 発がんのおそれ。 呼吸器系の刺激のおそれ。 長期又は反復ばく露による呼吸器、腎臓、免疫系の障害。